競　技　注　意　事　項

1．規則について
本大会の競技は、2026 年日本陸上競技連盟規則と本大会要項を適用する。

2．競技場の入場について
午前 9 時に 100m スタート地点後方のゲート(北門)を開門します。それ以前のコミュニティデッキへの場所取りなどの行為はおやめください。

3．競技会に参加される中学校・高等学校の引率教員の方へ
開門後 9:05 に競技場中央ダグアウト前へお集まりください。

4．招集について
① 招集場所は北ゲート出口付近（100mスタート地点）とする。
② 所定の時間に遅れないようにし、点呼は必ず本人が受ける事、遅れた者の出場は認めない。
③ 招集はその種目の競技開始３０分前より開始し、２０分前に打ち切る。

3．アスリートビブス（ナンバーカード）は主催者で用意した物を、そのままの大きさでユニフォームの背と胸にしっかりと固定すること。但し跳躍競技については、胸，背のどちらか片方でもよい。走幅跳は前面が望ましい。トラック種目は写真判定装置を使用するため腰ナンバーカードを付ける。リレーはアンカーのみ付ける。腰ナンバーカードは各自で準備すること。

4．走路順、試技順について
① プログラム記載順とする。

5．競技用具について
①競技用具は、すべて主催者が用意した物だけが使用できる。
②リレーに使用するマーク用テープはチーム名記入のものを用意すること。
競技終了後はチームが責任をもって回収すること。

6．フィールド競技について
走高跳は次の高さより競技を開始する。中学男子（1m35）中学女子（1m15）から開始とし、男子は（1m65）女子は（1m45）までは５ｃｍそれ以降は３ｃｍずつ上げる。
走幅跳、砲丸投の競技は一人３回の試技とする。

7．リレー競技について
リレーに出場するチームは招集開始 90 分前までにオーダー用紙を競技者係に提出すること。提出完了時刻を超えた場合は、当該種目を棄権したものとし、出場できない。

8．その他
① 競技場は全天候舗装であるのでスパイクのピンは９㎜以下を使用する。
② レーンを使用する競技で棄権があった場合は、そのレーンを空けて競技を行う。
③ 選手の変更は認めない。
④ 競技中に発生した傷害、疾病については応急処置のみ本部にて行うが以後の処置は各自で行う。
⑤ 貴重品や衣類の管理は各自で行い、盗難防止に留意すること。
⑥ スタートの合図はイングリッシュコマンド。不正スタートをした競技者は失格とする。
中学生は都中体連申し合わせ事項を適用する。
⑦ 入場は2F コミュニティデッキも含め北門に整列（２名）入場する。
⑧ ごみ類は必ず持ち帰り、競技場やその周辺の美化に努めること。
⑨ 制限された場所への立入りを禁止する。
⑩ 引率顧問の打合せを**９時０５分ダッグアウト中央前にて行う。**

⑪　プログラムの記載の訂正がある場合は速やかに本部まで申し出ること。

※　記録証についてはエントリー時に申し込んだ競技者に記録証を配布する。
　　記録証の発行を希望する場合は本部へ申し出ること。

※　各種目３位までの入賞者に賞状を授与する

大会参加にあたって

感染症等の拡大防止について（競技者及び来場者に関して）

（１）　感染症対策については、各自で感染予防に努めること
（２）　来場にあたっては、３つの密（密閉・密集・密接）を避けた行動を推奨する
（３）　マスクについては個人の判断に任されているが、人が密集する場所では、着用を推奨する
（４）　新型コロナウイルスやインフルエンザウイルスなどによる感染症罹患中及び回復後十分な時間を経過していない場合には競技会へ参加しない、また競技会場において観戦しないこと
（５）　発熱、咳等の症状がある者は競技会に参加しない、また競技会場において観戦しないこと
（６）　こまめな手洗い・アルコール等による手指消毒を励行すること
（７）　日々の体調管理を推奨する